

さあ 適応しよう！

健康

こまめな水分補給、日差し対策などの熱中症予防策を行おう！
水たまりを作らない、虫除けをするなど蚊の対策を行おう！



防災

県や市町村が出している防災情報（ハザードマップや避難経路）を事前に確認しよう！



未来のことではなく、今から始めよう！
「適応」のこともっと知りたい…
自分たちに何ができるか知りたい…
神奈川県気候変動適応センターでは、気候変動の影響や
適応に関する情報を発信しています!!

神奈川県気候変動適応センター（神奈川県環境科学センター）
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b44f/tekiou/top.html>

作成：神奈川県環境部環境政策課



私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

Kanagawa committed to SDGs



SDGs 未来都市 神奈川県

気候変動への 適応



気候変動※の影響はもう出ています!!

※気候変動：地球温暖化などにより、気温が上昇することや雨の降り方が変わること等。

例えば、県の近くの海では…

比較的暖かい海に生息する魚類等により、
磯場の海藻がなくなる「磯焼け」が起っています。



海の温暖化

（写真：神奈川県水産技術センター）
※磯焼け：もともと海藻が繁茂していた磯場において、藻食性生物による食害や栄養塩分の不足などの要因によって、海藻群がほぼなくなった状態

気候変動適応って何？

避けられない気候変動の影響に対応すること！
地球温暖化を防止する「緩和」とあわせて、
「適応」にもしっかり取り組むことで、
将来も安全・安心に暮らすことができます!!

気候変動問題

緩和
（再生エネルギーの導入など）

適応

将来、地球温暖化が進むと
もっと大きな影響に!!

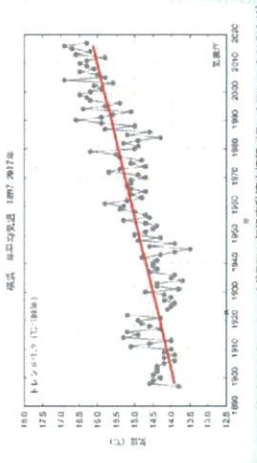


現在と将来 気温、降水量

気温

横浜の平均気温は 100 年あたり 1.9℃上昇

神奈川県（横浜）における年平均気温の変化

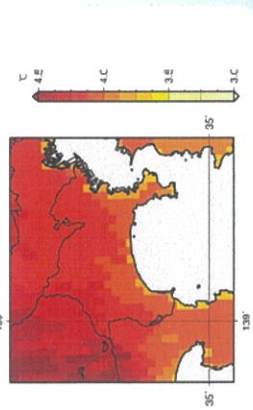


地球温暖化対策を取らないと将来は…

神奈川県（横浜）の平均気温は、100 年後に約 4℃上昇
→種子島と同じくらいに！※

※現在の年平均気温の平年値 横浜 15.8℃、種子島 19.6℃

年平均気温の将来予測変化の分布図



また、猛暑日※が
40日(約1か月半)も
増加する

※日最高気温 35℃以上



降水量

近年、大雨の頻度が増えてきている。

地球温暖化対策を取らないと将来は、

滝のように降る雨※

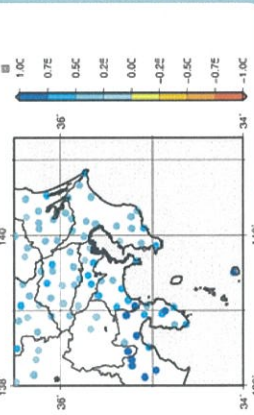
が増える一方、

全く雨が降らない

日の頻度も増える！

神奈川県では滝のように
降る雨の発生が
100年で2倍になる!!

滝のように降る雨の年間回数の将来変化の分布図

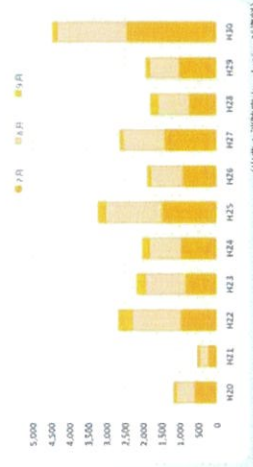


※滝のように降る雨：
1 時間の降水量 50mm 以上

健康

平成30年の夏は熱中症による救急搬送者数が4,000人超→将来気温が上昇すること熱中症のリスクが高まる！

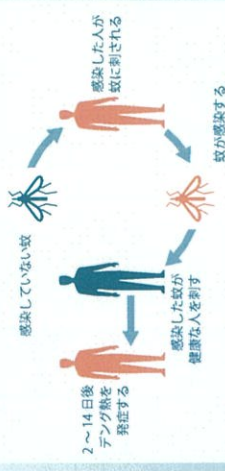
県内の熱中症による救急搬送者数



気温の上昇により蚊の生息範囲が広がる→デング熱等の感染症リスクが高まる！



デング熱は、蚊を介して感染します



防災

大雨の頻度が増えることで、河川の氾濫や洪水の

リスクが高まる！



その他

農産物の品質悪化や、交通インフラなどにも影響

がでる！

